

伸び行く村

弘報が企画され「さかえ」が創刊されてから下度満二ヶ月である。当時はいろいろの面で困難視されてゐた弘報活動とゆう新しい課題に、敢て積極的に取り組もうとしたのは、よく知りよく語る——平等な機会を持つ事によつて、民主化の空念地に空転しがちな世相を、幾分なり共透明にし、明るく村づくりを押し進めたいとゆう、一つの夢を含んだ念願からであつた。取材、編輯、型式など、決して満足すべきものではないにしても、とも角一号も休刊しないで二十四ヶ月を続けて来た事をおもうと、これまでの苦労が決して地愛ないものでなかつた事をしみじみと感ずる。

清澄な氣流を浴して、地面にしみ込みやうに注ぐ秋の太陽の、健康的な紫外線を十分に吸収して咲き誇る菊の花。凍とした大輪のその姿、美しい夢を抱きながら永い月日を丹精する菊作りのその苦労は、又村づくりの努力に通ずるものがあらう、我々も亦、伸び行く村の将来に、更に偉大なる夢を描いて、躍動的な生甲斐ある汗をしばらう。

「さかえ」十一月号目次

表紙	——	米小 敬 頭 廣業 婿
題 字	——	栄村俳句会長 永田晋吾
系	伸びゆく村	弘報委員 長 大久保四郎壽
農協みのり貯金抽籤会	——	供米進捗状況
白米立毛品評会成績	——	公民館の文部大臣表彰
農協五周年記念大会	——	母體と子蟹
果樹白菜種圃の経営	——	原稿募集
本年度七五三祝賀計画	——	盛会だつた菊祭り
七五三祝子の名前	——	米の供出割当きまる
固定資産評価の解説	——	栄村俳句会
学校図書館の活用	——	国民健康保険税
職場生徒作品に応募	——	村の皆さんへ
小学校便り	——	青年会体育祭
村教委愈々発足	——	PTA講習会に参加して
特志寄附二つ	——	米村した視察団
募金の報告	——	電 話 室

さかえ

十一月号



栄村公民館弘報



第六回 茨城みのり定期貯金抽籤会

三〇〇万円突破 栄農協

みのり定期貯金募集については毎度御協力をいたゞき誠に有難く御礼申上げます。御陰を以て三百万円を消化して、確保に一段と迫力を増し、普農の基礎を堅実化したものとして喜びに堪えません。

抽籤の結果、左の通り当選してありますから皆様御手持ちの抽籤券を照合して下さい。割増金は直ぐ御支払致しますから御出かけ下さい。

等級	割増金	当選番号
一等賞	三千万	下三桁の数字 七六二
二〃〃	一千万	〃 二九九、九一八
三〃〃	三百万	〃 〇三九、九九八、一六八
四〃〃	百円	下二桁四四、二三、〇〇、六四
五〃〃	四八円	残り全部

白菜立毛品評会成績

特産白菜の栽培成績については毎年立毛品評会を

郡落	氏名	真数	順位	郡落	氏名	真数	順位
上境	酒井 実	五三三	三二	中根	本橋 幸助	五六六	二七
〃	酒井 庄市	五九〇	一九	土産	飯島 信義	四九〇	三五
〃	酒井 義久	五二六	三三	〃	酒井 春之助	五七八	二三
〃	酒井 助十郎	四三二	三八	〃	飯島 一男	五九三	一八
〃	酒井 番	四三三	三七	松塚	久保田 嘉男	四四一	三六
〃	酒井 正衛	四二五	三九	〃	久保田 隆助	六〇八	一六
中根	本橋 一男	六三五	九	横町	沼尻 茂	六三八	八
〃	本橋 久好	五八五	二〇	吉原	根本 虎雄	六三二	一一
〃	本橋 良雄	五三七	三一	〃	根本 一之	六二五	一三
〃	室町 幸一郎	六〇一	一五	〃	五頭 重義	六二一	一四
〃	室町 茂	五九五	一七	〃	五頭 良雄	五〇五	三四

農協同組合、公民館産業部共催で開催し、栽培技術の反省と優秀生産者の表彰をしておりますが、本年度も去る十一月十日実施しましたので、その成績をお知らせいたします。審査に当つては、肥培管理三〇点、作柄状況三〇点、収量検見二〇点、栽培面積二〇点として、審査員六名の採点平均点数を求めたものです。擬賞は、審査委員会に於て統制出荷による實際出荷量を勘案して後日決定の予定です。

(2)

古瀬	根本	茂治	五八四	二一	吉原	久松	六六	五
〃	寺田 兵吾	五八一	二二	〃	久松 とよ	六六	四	五
〃	豊島 源之進	六三四	一〇	金田	沼野 保之助	六五	四	六
〃	豊島 正雄	六三〇	一一	〃	佐藤 賢	六四	八	七
〃	諸井 伸好	五七二	二四	〃	宮本 幸	五四	四	三〇
〃	久松 きよ	七六〇	一	〃	片岡 修一	五五	四	二九
〃	久松 うめ	七二四	二	〃	中根 三郎	五七	四	二五
〃	久松 英一	六七八	三	西坪	黒田 三郎	五〇	五	三四
〃	久松 光江	五六二	二八	〃	諸川 辰雄	五七〇	二六	二六

農協五周年記念大会

農協法制定されて五年、皆様の協力によつて健全な発育をして来ました。今後益々農民の振興として農協の拡充をはかり、経済的、文化的農民地位の向上に邁進したいものです。来る十一月十九日より二十一日迄の三日間、土浦市に於て記念大会が開催されますので皆様の御参加をお願い致します。

- 一、農協青年婦人大会、十一月十九日十時土浦一高校
- 優良青年連盟 婦人部 子供協同組合の表彰
- 二、家の光大会 十一月十九日午後一時土浦一高

郷土民謡大会

三農民祭 十一月十九日午後三時(組合長参加)

土浦御旅所に於て

四、第五回 茨城県農協大会、十一月二十日午前九時

協議宣言決議、優良組合役員表彰、事務協技会

褒賞授与

五、優良農機具農薬展示実演会 於土浦第一高等学校

十一月十九日午前十時より二十一日まで

六、特産物共進会 十九日より二十一日 土浦小学校

七、生徒児童作品展覧会 二十一日まで 土小講堂

八、農村医療展覧会 同右 土浦小学校教室

九、農協競技会 十一月二十一日午前十時 土小校庭

〇、特産物共進会 農協競技会褒賞授与式

十一月二十一日午後一時 於地方事務所会議室

NHKテレビジョン実験放送 二十日

十一、常盤神社渡御 十一月十九日より二十一日まで

十二、土浦神輿祭 三日間 市村並幸

表彰

栄村農青連は優良農青連として十一月十九日表彰
小林清蔵氏は永年勤続(十七年)全二十日表彰

果嘗白菜種圃の経営

本年も昨年度の実績に鑑み、優良種子確保のため、白菜播種圃を経営することになりました。果嘗特産課に於ては、特に果嘗採取事業の一環として、これを取り上げて下さる事と相成りました。

特産地としての地位を確保するためには、相当の試験を経なければなりません。皆様と共に一致協力、品種の改良、栽培技術の向上に努力したいと思います。

十一月廿二日には、果農林部特産課長、茨城県農事試験場営繕技師、新治地方事務所経済課長を招き、園芸部顧問、部長、副部長と採種に關し打合会を開催する予定になつております。

職員異動について

(3) 販売部主任として鋭意皆様の期待に副うべく、日夜奮闘して居りました。飯島幸之助君が、家庭の事情により、千葉県大和田町へ転居することになりましたので退任することになりました。後任として根本部主任として活躍することになり、矢口静之助君が購買部肥料木材係を担当することになりました。



本年度の七五三祝計画

本年度の七五三祝の該当者は男子二六名女子四〇名去る十月二十七日該当者の父兄の方々の座談会を催し行幸に対する、計画のお話し合いをしました。人生の門出の第一の御祝であるので、厳肅の中にも、和氣に充ちた、密囲笈を醸し出す行幸が必要であるので、其の線に副うた、プログラム作成に話し合いが進められ、生活科学化の一端をも擔ふべく、祝服は一定し学童服と云ふ事に決定し、共同購入を致す事になり、目下農協同組合と商工会とに分注する段階となつて、居ります行幸は神式により厳かな、祝典の後、館長より、記念品の贈呈、記念撮影を行ふことに決定した。式後小学校生徒達の協賛を願ひ、レクリエーションを展爾し祝子の前途を祝福して、式を閉づる事に決定し、目下準備中でありますが問題は時間の励行であります。午前九時半には、御集会を願ひ、午前十時には、熾式出来るやう皆様の御協力を願ひます。

七五三祝子の名前

上境	酒井 宗一 男	土器屋	酒井 善幸 男	松塚	鈴木 敏夫 男	金田	久松 道夫 男
酒井 綾子 女	飯島 厚子 女	大上	塚本 新也 男	大上	塚本 新也 男	中野	豊 豊 男
酒井由紀夫 男	酒井 佳子 女	大久保	美也子 女	塚本	幸男 男	古	糸 豊島由喜子 女
岡田由喜男 男	酒井 雅子 女	飯村	邦夫 男	大下	酒井 節子 女	豊島	良之 男
多比良由貴子 女	山崎 政子 女	酒井	初き子 女	酒井	初き子 女	久松	守 男
香藤 庄二 男	糸賀 志雄 男	長沼	在久江 女	吉瀬	根本 時雄 男	根本	時雄 男
中根 小倉 文子 女	大津 幸子 女	酒井	總也 男	上方	志津 女	中島	重男 男
平島 紀子 女	鷹巣 幸子 女	酒井	智恵子 女	中島	重男 男	岡野	照子 女
平島 初江 女	山崎 繁 男	酒井	富美子 女	島崎	和彦 男	根本	洋子 女
中根 佳子 女	前田 幸子 女	沼尻	政子 女	沼尻	政子 女	中島	文子 女
小川 長久 男	伊藤 緋紗子 女	沼尻	まさ 女	中島	文子 女	根本	千恵子 女
酒井 正枝 女	香藤 利行 男	豊崎	幸夫 男	中島	五十二 男	中島	五十二 男
土器屋	飯島 民子 女	松塚	坂 義満 男	金田	沼尻 アイ子 女	沼尻	登 男
酒井 和子 女	久保田 博子 女	沼尻	美津 女	沼尻	光子 女	沼尻	光子 女
飯島 節子 女	鈴木 こと 女	沼尻	美津 女	沼尻	光子 女	沼尻	光子 女
小神野悦代 女		沼尻	光子 女	沼尻	光子 女	沼尻	光子 女





判り易い

固定資産評価の解説(三)

固定資産評価員 沼 尻 弘

三、評点とは(九月号のつぎ)

D、所在地域の状況による増減係表(抄録)

宅地坪当平均評価額	増減率	宅地坪当り平均評価額	増減率
三〇〇円一四〇〇円	△一五	一〇〇円一二〇〇円	△二五
二〇〇円一三〇〇円	△二〇	備考 本村関係の介	

E、木造家屋損耗減価考査表

甲	乙	丙	丁
上 主要部材及造作等に古さを感ずるが損耗の甚だしいもの殆んど 純土は全くない	中 上記の他、瓦葺屋根等の築地用戸の破れが著しかったり、鉄板屋根等の 修理取換えを要する程度	下 上記の他、瓦葺屋根等の築地用戸の破れが著しかったり、鉄板屋根等の 修理取換えを要する程度	下 土台の腐朽、柱の傾斜甚だしく屋根、壁、床等の損傷大なる 土台の腐朽、柱の傾斜甚だしく屋根、壁、床等の損傷大なる 土台の腐朽、柱の傾斜甚だしく屋根、壁、床等の損傷大なる

F 家屋経年減価率基準表(農家造)(抄録)

備考	減価率八〇%以上は何年経つても同じである	八〇%以上	七〇%以上	六〇%以上	五〇%以上	四〇%以上	三〇%以上	二〇%以上	一〇%以上	以下
八八	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
八一	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
七五	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
六八	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
六五	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
六二	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
五五	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
四四	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
三五	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
三八	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
四〇	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
三五	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
三〇	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
二〇	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
一〇	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五
一	〇.八〇	〇.七五	〇.七〇	〇.六五	〇.六〇	〇.五五	〇.五〇	〇.四五	〇.四〇	〇.三五

(16)

本年度の農家造り家屋評価に必要な諸表は以上の通りであるが、この諸表のうち「A、建築費指数(九月号参照)」「D」「E」の三表及び農家造り評点九月号参照)中電灯、水道、便所以外は凡て農家造りに限り適用する諸表であつて、その他の家屋については、種類毎に各々異なる評点を使用するから予め請求せられたいと思ふのである。評点は一員一円に換算する。また農家造りとは、住人の職業でなく建築物の形態であるからその辺も誤解のないように断つておく。

四 判定と評価の実際

次に以上の諸表を使用してなす評価の実際を示して大方の参考に資することとする。

- 一、所在地の状況、純農村地帯であつて平坦地、宅地は更に二間中の村道を有し、吉沼一土浦間果道まで約七町位ある、宅地は二六級で坪当り一五〇円
- 二、家屋の向きは異向で日当りは至極良好と認める
- 三、建築年度及沿革、本屋はその基本建築は明瞭でないが元禄、貞享の頃即ち約二百六十七年前と推定せ

られる。然し中途において数次の修繕や改造が加へられることは、柱、土台等と現況より看取せられる中が多少傾斜は比較的少く、損耗度も年令の割には少ない、その判定は別表Eにより乙級の下(四〇%減)と見られる。年令は以上の通りであるからF表により八〇%減を適用し平均六〇%の減と査定した。

四、建坪及び建築の種類 建坪は四十九坪、本造草葺平屋建の居住である。従つて坪数の実際計算には「C号表「九月参照」」により一〇%減となるので四十三坪六合一勺が適用されることとなる。軒の高さはその頃の建築としては高い方で一丈ある。採光通風状態も普通である。

五、各部の構造と評点(括弧内の判定と評点)

- (2) 仮工事(普通上級 三〇〇点)(九月号に善上二〇〇とあるは三〇〇の勝手誤り)
- (イ) 基礎工事 砂利の上に天然石の比較的厚い平石が礎石として入れてある。もとはその上に柱が立つて居つたのかも知れないが現在では樺、栗、杉等の土台が混合されて居る。年度は同じではないようであるが兎も角がっちり出来て居る。(中級

二二〇〇点)

(c) 屋根工事、屋根は旧式の葺きで、出し桁でもなければ、勿論「せんがい」等でもなく俗に「ひつかぶり」と云う構造で、葺草は山菅、表側は雨隠かけて黒二本直しであるが裏側は普通の葺き方である。棟は「ひしぎ竹」をかけ駕おどりがついて居る。(中級 二四〇〇点)

(d) 左官工事、壁は全部小舞壁である

イ、外壁 全部鼠漆喰仕上げ(九〇〇点)

ロ、内壁 全部荒壁 砂摺仕上げ(荒壁上七〇〇点)

(e) 軸組及小屋組 柱は大黒柱外ニ本が尺角以上の樽二等材以下その他の柱も古いものは樽で約五寸角、中途取り替いたと認めらるゝものは杉四寸角二等材、梁木や、桁、根太等は樽又は松の巨大な丸材が使用され坪当り一石六斗以上と認められ又大工手間等も坪九一〇人位はかゝると認められる。(中級の中、一〇二〇〇点)

Ⓕ、天井は粗末な落天井が一五坪五合、板は小節の松又は杉板、外に杉小節板使用の羊椽天井が二坪ある。その他は竹貫である。従つて総体の三分一

程度と云うことができる(中級二、〇〇〇点の三分の一、六六〇点)

(9) 床工事、総建坪の二分の一は土間で、邊は備後の縁無し四坪、琉球中上級の表で一七坪半外に松板の縁がある(全体平均して中級と認定した)。坪当り評点は $\frac{17.5 \times 2000}{100} + \frac{10.5 \times 1500}{100} = 2275$ 点

(10) 建具類 建具は古いもの、新しいもの種々雑多で、出米合の紙障子、上等な杉の鏡戸、古い雨戸、新しいガラス戸等が入り混つて居るが、ガラス戸も出米合程度総体より見れば普通上と云う所であらう(三、〇〇〇点)

(11) 雑工事、雑工事としては別に見るべきものもない、押入が一つあるだけで床の間があるわけでもない、従つて普通と見る外はない。(三、〇〇〇点)

(12) 附帯工事 電灯は従量灯で五灯ついて居るが、電灯会社の台帳では貸付となつて居る従つて本屋に附帯する資産ではない。粗末は上便所がついて居るが、これも旧式のものである。故に $\frac{1000 \times 100}{100} = 1000$ 点となる。(三、〇〇〇点)

今本表の各部に附した(1)より(12)までの評点を合計す

(8)

れば九八五〇点で、即ち本屋一坪当りの再建築価額は一万九千八百五十円となるのである。以上の諸条件によつて次にこの評価計算をして見よう。

(1) 評点(1) $19850 \times \frac{1}{100} \times (\text{再建築価額}) = 198.5 \times (\text{再建築価額})$
(2) 評点(2) $19850 \times \frac{1}{100} \times (\text{再建築価額}) = 198.5 \times (\text{再建築価額})$
(3) 評点(3) $19850 \times \frac{1}{100} \times (\text{再建築価額}) = 198.5 \times (\text{再建築価額})$
(4) 評点(4) $19850 \times \frac{1}{100} \times (\text{再建築価額}) = 198.5 \times (\text{再建築価額})$
(5) 評点(5) $19850 \times \frac{1}{100} \times (\text{再建築価額}) = 198.5 \times (\text{再建築価額})$

と云う結果となる。従つてその評価額は十二万七千二百五十一円である。

(2)で一言して置きたいことは、果知事より家屋評価についてその平均評価格が示され、これより下五%上一〇%の範囲において評価しなくてはならないと云うことである。一点の単価や評価基準、或は減価率等が定まつて居つてもその上に平均価格が示されて居ると云うことは評価計算の上より云うと非常にやりにくいのである。知事の示した本村の家屋の坪当り平均価額は二千四百十六円であつて、本村における昨年度の評価は坪当り平均二千八百三十八円であつたからこの点では一応前年より坪当り六百九十二円下つて評

価することとなる。二に例示した家屋は、前年の評価決定額は十六万八千八百円であつたのであるが、本年は減価指数や、知事の平均価額指示の関係でその評価額は前年に比し二割四分六厘下廻つたわけである。而して知事の指定価額は前年に比し平均二割四分三厘減となるのである。が課税面においては果してどう云う結果となるであらうか。次に一応説明して置かう。

五 家屋への課税

前年度は家屋に対する固定資産税の課税については二割四分九厘と云う軽減率が適用されたのであるが、本年度においてはこの軽減率は適用されない。故に評価決定額に対して基準税率としても千分の十六をかけるわけである。前述の家屋についてのこの税金を計出すれば次のようになる。

評価額 $127,251 \times \frac{16}{100} = 20,360.16$ 円
課税額 $127,251 \times \frac{16}{100} = 20,360.16$ 円

従つて評価は下つても課税面においては八円の増加となるわけである。然し大差ないと云う所であらう。本家屋に限らず特殊の變化あるものは別として何れも前年と大差ない結果を得る可能性ありと信ぜられる。



縣下一の折紙つき 学校図書館の活用

栄中学校

去る十月二十八日、学校図書館の機能を活用する学習指導法と言う特殊研究課題の研究発表会を開催しました。講師には新治出張所長酒出主計先生、県指導課指導室事務員梶原純生、全県優勝之助先生の御先生方を迎え、会員は遠くは日五より又下妻二高の先生方等、県下一円より多数参加して行われました。公開授業二時間、研究発表、討議の後講評に移り、その中に学校図書館を最もよく活用して実際授業に結びつけてその成績を挙げているのは、小学校では日立市会瀬小学校高等学校に於ては、下妻第二高校であり、中学校に於ては栄中学校が県下唯一であるとの評をいただきました。実験学校に指定された際、本校に於て標準の学校図書館の機能を活用する学習指導法と言う課題を掲げました時、県指導課では一農村の中学校に於て果してこの課題を解決出来るかどうかと危ぶんだそうです。しかし指導課の遠切な指導と皆さんの協力援助により、

前により、今日の成果を挙げ得ました事は誠に喜びに堪えません。本年を持つて実験学校の使命は終ります。が来年度も自由な立場に立つて継続的な研究を続け発表するつもりで居ります。今後の研究こそより重要な実のあるものであると思います。一層の御協力をお願い致します。

農協創立五周年記念生徒 作品に応募して

作文二等に入選中一大塚さん

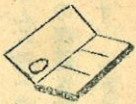
農協協同組合創立五周年記念児童生徒作品展覧会に本校からも作文、習字を出品致しましたが審査発表の結果、多数応募作品の中から次の二名が入選の栄に輝きました。

作文二等 私の村の農協協同組合 一年大塚文子

三等 私の村の農協協同組合 全 塚本智子

尚農協共済組合普及作文に三年小林靖定君が三等に入選し、国際親善絵はがきコンクールに三年菊地千鶴さん、三年塚本実君、一年酒井五兵衛君の三名が入選し本戸郵便局長より賞品を贈られました。

(10)



小学校便り

近藤先生御退任

昭和二十二年より今日までまる五年一ヶ月、終始御熱心に御指導に当られ、児童、御父兄の方々から深い信頼を寄せられておりました近藤先生には十月三十一日附で御退任なされ、十一月四日告別式をいたしました。この度の御退任が御家庭の御事情によるとは申しながら本校にとつて誠に惜しい先生でございました。二十五日の研究会を控え尚更その感を深くしております。因に先生の御住所は、東京都駒込千駄木町五九 河角様方でありませう。

二、実験学校発表会

昨年県教委より実験学校として委嘱を受けてから今日まで実験学校の名に恥じないよう取組、PTA、児童一丸となつて努力して参りましたが、愈々二十五日発表会を催し今日までの成果を郡内は勿論広く県内の先生方に見て頂く事になりました。当日は公民館に於て本校の学校図書館並に児童会の活動状況を幻燈によ

つて発表いたしますし、学習指導面についても是非皆様の御意見を願いたいと思ひます故御来校下さる様お願い致します。

村教委愈々発足す

本村教育委員会は、十一月一日午前九時から第一回委員会を開会し、先づ正、副委員長を互選の後議事に入り、村教育委員会々議規則外八件の重要議案を慎重審議の上議決し、更に事務局人事等を決定、即日左の通り発令して愈々そのスタートを切つた。

委員長久松信一、副委員長岡田節二、教育長助役酒井嘉幸、事務局総務係酒井伊右衛門、同学校教育係石渡九郎、社会教育係豊島実

特志寄附二つ

村農業委員会委員二〇名は合議の上各委員五百円ずつ募出し、合計金一万円を、新制中学校建築費中へ寄附また栄郵便局長久松盛男氏は、今回郵便局長就任を機として、金五千円を同費中へ寄附した。村当局はこれ等の美事に對し大いに感激して居る。



募金の報告

婦人会

一、赤い羽根募金

本年の赤い羽根募金は、左記の成績で完了しました。部落別をおしらせしまして、村民の皆様のお熱心な御協力に対し厚く御礼申し上げます。

郡名	目標額	実績額	概算戸数	備	要
上境	四、六〇〇	四、六二〇	六六戸	米村に未了目	
中根	六、九一〇	七、五一〇	一〇三	目標額は四三二八	
土器屋	六、九一〇	五、九二〇	一〇四	〇円	
松塚	三、五三〇	三、六〇〇	五一	戸数は概算で	
大	四、七六〇	五、七六〇	七一	すからいくら	
横町	二、一五〇	一、七〇〇	三二	か誤差がある	
金田	五、九〇〇	五、〇八〇	九五	かも知れません	
古米	三、八四〇	三、七七〇	九六		
吉瀬	四、〇二七	三、五八〇	六二		
合計	四二、六二七	四一、五四〇	六四〇		

二、桜山神社進納金

本戸桜山神社進納金の表村目標額は一六、七〇〇円の

所(昨年度の実績六六三〇円)大体一万円位の目標で一戸当り三十円見当募金いたしました結果左記のやうな成績がままりました

上境	一、二二〇	横町	四〇〇
中根	一、三二五	金田	一、四〇〇
土器屋	一、六〇〇	古米	九〇〇
松塚	八〇〇	吉瀬	一、一五〇
大	一、一〇〇	合計	一〇、〇三五

三、全日本無名戦没者合葬墓 建設寄金(九月三〇日納)

上境	六〇〇円六〇八	横町	三〇〇円 三〇〇人
中根	九八〇円九三八	金田	七五五円 六三人
土器屋	八八〇円七六八	古米	五六〇円 五三人
松塚	四七〇円四七八	吉瀬	五五〇円 五五人
大	九六〇円六八八	合計	六、三三五円 五四五人

供米の進捗状況 十月十五日現在

本村の二七年産米状況は、悪天候と電源ストに福ひされて居るが現在二、一八四俵で基本割当に比し二七七八%、総割当に対しては二五八八%である。



公民館に輝く

文部大臣表彰

昨年第十三位にて惜しくも選に洩れた本村公民館はその後の充実強化と業績が認められて、皆様既に御承知のやうに今回文部大臣より最優秀館として輝く栄冠が与へられました。現在全国に設置されてゐる總数七千二十八公民館の中で、各府県から九十六の代表公民館が推せんされ、更にその中から最優秀な審査の結果十一の優良公民館と十五の準優良公民館が選奨されたのであります。宮城県矢本町、茨城県糸村、新潟県金沢村、石川県鶴巻町、愛知県大口村、三重県御苗村、島根県畑追村、広島県本江町、高知県大塚村、福岡県方城村、鹿児島県出水町の十一館で、関東地区としては本村だけが代表的立場にあることは実に感概深きものがあります。

表彰式は、去る十一月三日文化の日をトして文部省大臣室に於て挙行された。式は午前九時から開会され表彰状並に賞品(金属製大花瓶)の授与、大臣式辞、公民館代表の挨拶があつて一旦閉じられ、表玄関にて

記念撮影の後、直ちに九時廿分から次官室に於て懇談会が開催された。各館代表より交々活動状況の発表あり次いで今後の公民館活動上の課題について、それぞれの立場から意見の発表並に検討、情報交換等が行われ、正午盛會種に閉会された。

午後一時から一行三十四名は、坂下門から宮城に参入、約一時間四十分の間、宮城内を奥深く拜観し、午後三時、特別の恩召により天皇陛下より拜謁の栄を賜つた。先づ社会教育局長から陛下に対し、公民館の設置、活動状況及び本日表彰の経緯、今後の所管について詳しく言上申し上げれば、一同に対し陛下からは「大切な社会教育のための公民館運動を益々向上させるよう努力してほしい」旨の御難いお言葉を頂戴し、三十分感戴のうちに一同宮城を退出した。

午後四時より文部省大会議室に於て祝賀の乾杯を挙げ、次官の発声で方を三唱して、一切の行事を終り解散したのは午後四時半であつた。

今回の表彰に当り、沼里社会教育課長はじめ、県、郡の社会教育関係者諸氏より多大の御指導と御力添を頂きました事は、感謝に堪えない所であります。



母蟹と子蟹 栄中学校

最近父兄の皆さんから耳にする事は、蟹(しつけ)の問題が多い。すなおさが無い。手伝いをいやがつて、帰宅の時間が遅い、家の生活と学校生活が反対である、言葉がそんなに悪い等々、父兄の皆さんが深刻に蟹の問題で悩んでいる事がよくわかります。

蟹(しつけ)とは、「よいくせ」「よい習慣」をつける事であつて、一朝一夕に出来るものではなく、小学校入学以前から、家庭で努力した上で出来るものである。本校について、去る七月から茨城大学教育学部でこの問題について調査した結果を次に挙げてみましょう。○子供の蟹(しつけ)はどうしているか、別に考えない三%、自由である八%、時々注意する五四%、よく注意する二七%、きびしい八%以上から見ても、別に方針も態度も持っていない家庭が大部分のようです。寓話に母蟹が子蟹にまつすぐに歩くと説教して、自分は相変わらず横に歩いてたという話がありますが、蟹は家庭の父兄が鑑みるであつて、学校はこれ

に協力し、家庭と学校とが二人三脚の歩みになることが大切な要素になります。親や教師による「押しつけ」で蟹が出来ると言う考え方を改め、子供が理解し、納得による蟹へ進むべきであると思う。理解も納得も出来ない幼年時代は乃木大将の父までの「きびしさ」はなくても、或る程度、形の強制は行われた方がよいと思う。小さいからと甘やかし、大きくなつてからあわてて躾けようとして、学校にまかせ、学校の責任の様に、学校におしつけても、満足に蟹は出来ないと思う。蟹は親、教師と子供の根くらべてあると思う。今の先生は甘やかす。蟹がなつていないとの批評が多いが、蟹による蟹、圧力や権力による蟹は、もう試験済みではないでしょうか。如何なる混乱期にあつても、不変な歩みの出来る人間を作るには、真から蟹けて、不動の信念によつて行動の出来る人間を養ふなければなりません。春雨の地面にしみるような蟹け方が大切ではないかと考えます。他人の力でどうにでも動く人間ではなくて、自分の判断で正しく行動の出来る人間の育成、こうした人間こそ頼み甲斐のある人間ではないでしょうか。蟹から叱りつけなくて、よく、

(14) 子供の立場も考えてやり、その原因、友人等も考えられて、絶えず、かくさずに学校へ連絡されて、よくせ、よい習慣の育成に協力して行きたいと思ひます。

現在学校では、午後の四時には、特別の用事が学校にあつて、校長の許可した生徒以外は帰宅しています。自転車通学も許可制にしています。毎日国語の基礎テストをしていますから、何級位に合格しているか、又ノートの使用、テスト成績もよくみてあげて激励して頂きたいと思ひます

かわいくば、五つ教えて三つほめ
二つ叱りて良き人にせよ

二 村民の声

字数は二百字以内にて、建設的な意見や感想等をドンドンお寄せ下さい

二 質疑応答

村政教育産業文化等を通じ村内に関する問題につき不明不審の点を簡單明瞭にハガキを以て御投書下さい

宛名は公民館内私報委員会。受付は随時。取捨裁扱は委員会一任の事。原稿は一切お返し出来ません

前号訂正

十月号五頁「人事」の欄中、瀬井作衛氏の項中、就任とあるを辞任と訂正します



盛会だった菊祭り 栄愛菊会

栄愛菊会主催の第一回菊祭りは、稔りの秋を彩つて左記の次第のように盛大に催された。

十月二十九日、三十日の両日に搬入された懸崖、盆栽立菊共初年度の作品としては、見る者を驚かすに足る美事な出来ばいであつた。

十一月一日 茨城菊友会々々長岡田啓阿氏を招き栄愛菊会長立会の下に審査が行はれた。成績上々で多数の入賞者を出した。

十一月二日 栄愛菊会俳句大会を当該事務所で開催、参加者三十一名、応募作品百五十五句、盛会を極めた。十一月五日 公民館階上において賞状並に感謝状贈呈式を挙行した。

感謝状贈呈者は前月号に発表の外左の三氏が追加された。

- 一、本会班長として特に功労者、古米、小島、清
- 一、全上、大、塚木、久弥
- 一、本会の趣旨に賛し金田奇贈者、齋藤原、巖

菊優秀作賞状授与者()の通りであった。

(懸崖の部)

天賞 九重村東岡 小神野源藏、地賞 九重村上大角豆、飯田芳一郎、人賞中根、平島 清、一等賞、古米 小島 満 外六名

(盆栽の部)

天賞 古米 藤沢謙太、地賞 大、酒井治郎、人賞 九重村上ノ室 岡野毗太郎、一等賞 九重村上ノ室 岡野毗太郎 外三名

(立菊、二本立の部)

天賞 吉瀬 五頭良雄、地賞 大、塚本哲四郎、人賞 吉瀬 五頭良雄、一等賞 中根 平島清、外八名

(正菊 三本立の部)

天賞 古米、久松源吉、天賞二席、上大角豆、横田秀次郎、地賞 古米 久松源吉、地賞二席、久松源吉、人賞 土器屋 飯島政之助、人賞二席 土器屋 飯島政之助 一等賞 中根 小林實之助外六名、二等賞 吉瀬 中島長一外六名 三等賞 上の室 吉田福松外十二名 四等賞 急巻 松本信一外十五名

五等賞 東岡 () 買二外十一名
午後は演芸会を催し夕刻まで歡を盡した。

米の供出割当さまる

昭和二十七年産米供出割当は一月一六日農林省買合の議を経て決定した。生産組合毎の割当合計次の通り

組合名	基本供出量	超過供出量	供出量合計
上境	二三四二四	二〇〇〇	二五四一四
中根	三四七三八	二六〇〇	三七五三八
土器屋	二〇二〇〇	一九〇〇	二二〇〇〇
松塚	二四七九二	二〇〇〇	二六七九二
大上坪	二六五三七	一七〇〇	二八二二七
大下坪	三〇四九八	一九〇〇	三二三九八
横町	一一二四七	九〇〇	一二一四七
金田	三七八九九	一八〇〇	四〇六九九
金田西坪	八五三三	八〇〇	九三三三
古米	五九一三〇	三八〇〇	六二九三〇
吉瀬	三七五三三	二七〇〇	四〇二三三
合計	一四四〇〇	二二一〇〇	三三三七五〇〇



栄村俳句会 十月二日 於菊会場

課題 菊 当季雑誌

秋元虚受先生、加地水城先生、永田香雪、石田里一路、竹中香介、酒井雪花、共選

入選句

皇子ここに立太子在す菊の秋
白菊の空に冷めたさ夕追る
花にふれ香触れ菊の細き道
桐の実の鳴るやあくまで蒼空
庭深く燈籠が見え菊が見え
菊枕香が餘生なほ俳諧に
甘酒の後菊ひたしとめてなされ
泥つさし落穂を母が拾ひ米ぬ
香に酔うて袖ふれて見る菊の客
暫らくは何にも忘れて菊花垣
葬式の沙汰受けて中櫛刈り急ぐ
菊活けて師の注意などなつかしく
みだれ咲くコスモス哀愁を 呼ぶ夕
菊の香にひかれてながい雨やどり

酒井 雪花
竹中 香介
永田うた子
細田 白汀
永田 香雪
飯島 峰雪
塚本 暮村
片岡まもる
小林 痴山
根本 正男
大久保月夜
飯野 てる
岡田 光江
久保田久子

バスを待つ暫し憩ひの菊の花
菊咲えて秋庭明るき陽を浴びぬ
この道はつきすともよし菊日和
菊祭り繰出の留守は我に来し
子の掃帚梢に百舌の高鳴けり
出不精の妻に菊の日よく晴れて
寢席は菊花飾りて香に酔う
白菊々心ゆかしく歌に待つ

沼尻 亮風
小神野藤花
柴原 葉舟
酒井 紫泉
佐藤 玉泉
飯島 紫堂
坂根 一步
天貝 一水

国民健康保険税について

国保より

本年度より国民健康保険料も保険税になりました。つきましては、其の算出方法等厚生省からの指令がございましたので、今迄前年のままで振込致して居りましたが、この度算出が出来ましたので、其の算出方法を各部落毎に説明会を開催致しましたが、農繁期のためか、御出席も余り多くございまして、左に算出法をお知らせ致します。何分御理解下さいまして、相互扶助、健康保持のため、御協力の程お願い致します。収金は今までのやうに係が参上致します。

米村田民健康保険税算出表

種目	基本	所得控除	課税率	額	減額	合計
米村健康保険	30%	338,957	1.5%	5,084	15	750
固定資産税	10%	112,917	1.5%	1,694	100	400
世帯別所得	25%	282,293	4.75%	13,410	100	4,950
米村健康保険	35%	395,210	1.25%	4,940	125円×3人	3,750
計	100%	1,129,177				2,000

昭和27年度に於ける平均税

最高年額	8,236円	一世帯平均額	1,888円
最低年額	600円	米村健康保険	353円



村の皆さんへ

▼間もなく正月が来ます、こんどもまた、年賀はがきはお年玉つきの『年賀はがき』を買いませんか。
 ▼お年玉つきの『年賀はがき』は一枚五円です。そしてこの中から一円は共同募金や赤十字を通じて日本全国の恵まれない人達に贈られるのです。
 お年玉つきの『年賀はがき』から、この一枚五円のうちの一円の合計金額は、去年の分と見ると、日本全

国で三億五千万円、芽城果だけで六百廿八万円、米村では二万五千円とゆう、たくさんの方が全国の「恵まれない人達」に贈られたのです。
 ▼お年玉『年賀はがき』には、たくさんのお年玉が附いて居ります、うまくよしくぐに当たると、タマゲルような賞品が(即ちお年玉)貰えるわけです。
 ▼お年玉『年賀はがき』の売出しの期間は、この十一月十五日から来春の一月十日までです。そしてクジ引きは正月十五日です。
 ▼一年に一度、知り合や友達と、あらためてそのつきあいを温めながら、それがまた恵まれない人達を温める一片となり、さらにまた、楽しい当りクジの夢が待たれる『お年玉つきの年賀はがき』をたくさん買つて下さい。
 ▼お年玉つきの年賀はがき』は米郵便局へドレシお申込み下さい、待つております。また局員がお宅へお伺いしましたときも、買つてくださるようお願いいたします
 ▼『雪の日や、あれも人の子権ひろい』これは有名な昔の俳句です、俳句の意味は皆さんで、よく考へて下さい。

<18>



青年会大育祭

昭和廿七年度米村青年会体育祭は十一月三日文化の日、学校グラウンドに於て開催された、その日心配された空模様も絶好のスポーツ日和に恵まれ午前九時三百の若人はグラウンド中央に参集、君が代斉唱と共に日章旗は青空高くひるがえり、本部スピーカーは開会を宣した。会長挨拶、酒井助役の祝辞、審判長の注意の後選手代表金田支部陸川勝一君の「正々堂々戦ふ」との力強い宣誓があり、式終つて女子五十米予選を以て競技は開始された。

三十一種目のプログラムが進むにつれ選手の意気は大いに揚り、敢斗又敢斗、午後四時男子八百米健走を最後に米村青年会万歳を三唱して大会の幕を閉じた
 豊饒秀敏斗賞 須藤茂雄 菊地とよ

支部綜合得員

- 一位金田支部 一一一員 二位古米支部 一〇五員
- 三位吉瀬支部 七八員 四位土居屋支部 六八員
- 五位松塚支部 六五員 六位大支部 四〇員



PTA講習会に参加して

米中PTA会長酒井きよ

菊花重る佳き日、世をあげて立太子のおごそかなる式典を巻き奉り、とこしえに国豊かなれと総りの秋をお健やかに御努力なされて入らつしやるPTA会員の皆様にはいつも深い感謝を捧げて居ります。

去る十月十一日、茨城県主催PTA指導者講習会が沙采町を会場として開かれ、私も受講者の一人として参加させて頂きましたことは会員たる皆様方の御援助の賜と心から感激いたしました。

茲に講習内容の一端を御披露致しまして皆様方の御参考に供すると共に、私共の今後の研究課題を求めて行き度いと存じます。受講者は各郡市より五名づつ出席いたし全部で約百名、果よりは社会教育課長外主事八名、他に県PTA連絡協議会長、講師として文部省事務官田村富次郎先生をお迎えいたしました。開講式に続いて田村先生の御講演がありその要旨は『PTAの目的は児童生徒の福祉を家庭、学校、社会の協力に

よつて全面的に増進することであつて、そのために学校と家庭の協調と両親教育、更に地域社会の改善の三兵が重要となる。それを更に言ひかえると児童の福祉増進と成人教育。これがPTAのねらいである。子供の福祉とは、その子供達が生活し、活動の体験を重ねて成長して行く家庭、学校、社会の三者が有機的関連をもつて行つて来る事を考へて、その関係の改善と三者のそれぞれの向上とを考へることから出発する、要するにPTAは社会教育的立場から児童生徒の福祉を図る団体であるとする事を確立することが大切である。と強調され更に「PTAは進歩的会合をもつことが大切である。そのためには、子供のために、一兵にすべてを集中して割切ることである。開会開会の時團長守は勿論気象に気懸に出席出来る雰囲気を作ることに大切である。」「PTAは、アメリカのPTAでなく、日本の実情、地域、社会の慣習実態に即して発展させるのが望ましい」とお話し下さいました。講演会に就いて分科会に分れて各種問題の研究討論を行いました。私の出席いたしましたのは第三分科会で「校外指導を如何にしたらよいか」といふ課題について検討

協議いたしました。話題として「次天下上衣きつけ長ズボン」を必ずつけているといふ小学五年生のボス的集団の指導対策はどうしたらよいか。又不良化防止対策として少年自警団の結成とその活動による好結果、校外生活における小供の指導の言兵に特殊児童の指導の問題がある等沢山ありましたが、それが対策として、

- 一 小供クラブを養成する
- (1) PTA組織の中に指導組織をつくる。
- (2) 他の児童福祉関係官庁及団体との連絡を密にする
- (3) 育成方針として
 - (1) 児童生徒の指導から出発する
 - (2) 子供のリーダーの育成
 - (3) 形式的連合組織を与える
- (4) 集合の場所を与える
- (5) 不良化防止について
 - (1) 不健全な文化財を排除する
 - (2) 遊びの施設をつくる
 - (3) 遊びの早期発見
 - (4) 子供の言動を見守る。

(19)

(20)

(四) 所持品に注意する

(イ) 交友関係の観察

三、不就学、長期欠席児童生徒に対する補導

四、学校がイダンス計画との関係

以上の結論を得ました。

まことに粗末な筆でございましたが会員の皆様の御参考にもなれば望外の嬉びでございます。二つした問題の中に私達の今後の進む道、子供達の幸福への道を発見して私どものPTAを一步前進させて行きたいと念願して居ります。

来村した視察団

◆十月四日、多賀町より一三名 ◆十月七日、全町より教育委員長外五名 ◆十月八日、面茨城郡七会村より一八名 ◆十月十一日、小幡村より風信平外三三名 ◆十月三十日、稲敷郡八原村小学校教員一二名 ◆十一月六日、北相馬郡高須村より一〇名 ◆十一月十一日、東茨城郡長岡村より各種団体幹部並に婦人会員計百一名が何れも諸般の視察のため来村した。

電話室

村から家庭へ

◆九月廿五日 公民館に午後七時半より衆議院議員候補者北沢直吉氏の個人演説会開催

◆九月廿六日 新治地方事務所佐野野経済課長外五名稲作検見のため来村、夜果教委新治出張所社教室平賀氏来村青年学級に関する座談会開催

◆九月廿八日 午後一時より公民館に婦人会役員会開催

◆九月廿九日 公民館に午後三時より衆議院議員候補者細田綱吉氏の個人演説会開催

◆十月一日 衆議院議員総選挙並に最高裁々判官国民審査投票執行、結果は十月号記載の通りである。

◆十月三日 公民館に午後七時半より村教育委員会委員候補者根本登氏の個人演説会開催

◆十月五日 果教委委員、果議会議員補欠、村教委委員の送替執行、結果は前月号記載の通りである。

◆十月七日 公民館に午後一時より栄村俳句会が開かれた

常盤線列車					国鉄バス南筑波線 ※印運休					
上	下	上	下	行先	上	下	上	下	行先	
青森	3.55	5.20	6.15	仙台	青森	5.47	6.10	6.00	6.23	行先
青森	4.50	6.25	7.09	水戸	大宮	6.28	6.51	6.40	7.03	大宮
土浦	5.39	7.15	8.03	平	下大宮	7.10	7.33	7.10	7.33	下大宮
青森	5.56	7.25	8.10	一ノ戸	大宮	8.10	8.33	8.20	8.43	大宮
水戸	6.19	7.55	8.35	青森	古河	9.05	9.28	10.15	10.38	古河
水戸	7.04	8.36	9.50	仙台	下大宮	10.00	10.23	12.40	13.03	下大宮
高萩	7.53	9.25	11.00	仙台	古河	11.20	11.43	13.50	14.13	古河
札幌	8.36	9.45	12.10	仙台	下大宮	12.20	12.43	15.00	15.23	下大宮
平	9.05	10.35	13.20	平	下大宮	14.18	14.41	15.50	16.13	下大宮
青森	9.38	10.40	14.40	原町	大宮	16.40	17.03	16.35	16.58	大宮
富岡	10.39	12.05	17.34	平	大宮	16.53	17.16	17.10	17.33	大宮
原町	11.56	13.25	16.50	勝田	古河	17.40	18.03	17.35	17.58	古河
仙台	12.56	14.25	19.10	水戸	古河	18.50	19.13	18.25	18.48	古河
仙台	14.54	16.25	19.05	香取	古河	19.19	19.42	19.40	20.03	古河
仙台	16.26	17.55	18.40	高萩	古河	19.38	20.01	20.40	21.03	古河
仙台	17.26	18.55	19.25	札幌						
平	18.57	20.35	20.20	水戸						
青森	19.10	20.15	22.00	青森						
平	20.18	21.50	22.05	青森						
仙台	21.15	21.50	22.45	青森						
〃	23.16	土浦止								

常盤線バス(古河-土浦間)石下線				
上	下	上	下	行先
古河	7.30	7.50	8.00	石下
〃	8.40	9.00	9.10	〃
〃	12.00	12.20	13.00	〃
〃	14.20	14.40	15.00	〃
〃	17.00	17.20	17.40	〃

◆ 十月九日 栄小中学校 合運動会が全校々庭に行はれた。全夜役場に村議会議員協働会が開催された。

◆ 十月十五日 白菜栽培の奨励を旨とするため、山形県農業改良課島崎三郎、宮城県経済部特産課吉野隆助、福島県経済部農改課戸井田善孝、農林省経済局経済課江草技官、茨城県経済連真崎瑞、全特産課大和田定明、山崎俊信の諸氏来村、現地視察の後公民館階上会議室にて座談会を開催した。

◆ 十月十六日 村議会開会

◆ 十月十七日 中根土地改良区第一回総会並に養蚕及煙草組合の協議会議が何れも公民館に開かれた。

◆ 十月廿日、新治郡内町村国保担任者会議、農協白米出荷対策協議会が公民館に開催

◆ 十月廿一日新治郡各町村国保運営協議会々長会議公民館に開催

◆ 十月廿三日、本村役場吏員総出勤にて滞納税金の整理に着手、今後も引続き整理の予定であるが、最悪のものに対しては滞納整理組合に引渡し最後の断を下すとのことであるが、役場側ではなるべく滞納者ともよく相談して整理したいといつて居る。

◆ 十月廿五日、公民館に於て乳幼児の検診を行う。また午後一時よりは七五三の祝に於て父兄の歴史会が開催された。この頃を中心として村衛生係に於てはツベルクリン反応や、百日咳の予防注射を各部落に出張して行った。

◆ 十月廿八日夕刻本村公民館が全国優良公民館表彰審査に合格せる旨土浦の読売支局より内報があつた。

◆ 十一月二日農協みのり定期貯金三百万円的目標を達成、抽籤会が公民館に行われ後余興があつて盛会を極めた。

◆ 十一月三日全国優良公民館十一館の中に入り栄えある表彰式に参列のため藤沢鏡長外五名文部省に出頭、式後電城拜観を差し許され、しかも長くも天皇陛下に拜謁、有難御言葉を賜り一同感徳感激して夕刻帰村した。全く空前の光栄といはねばならぬ。

◆ 十一月十日 白菜立毛品評会の審査を行う

審査員は大久保四郎三郎、沼尻久好、久保田実、酒井治郎、藤沢連、大津治雄、喜島実の諸氏で審査の結果は別項記載の通りである。

編輯室から

私報「さかえ」が創刊されてから丁度満二年になりました。通巻二十六号の発行を重ねて参りまして、常に村民の皆様のお愛読を頂き、名実共に、知る機関、知らしめる機関としての使命を果しつゝ、ある事を強く感奮してゐる次第であります。才三年目を迎へるに當つて、特にお願いしたい事は、建設的な「村民の声」の寄稿と、一戸一戸必読運動に御協力の程お願致します。

「さかえ」 第三巻第二十六号

昭和二十五年十一月三日 創刊

昭和二十七年十一月廿日 発行

編輯人 栄村公民館弘報委員会

印刷人 土浦市中城町九一九

かすみ 勝享堂

電話(土浦) 四八九番

発行人 茨城県新治郡栄村横町二六三一

栄村公民館

電話(栄) 三三番